



#3

PATENT APPLICATION
B422-159

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s) : Takehito Utsunomiya
Serial No. : 09/873,530
Filed : June 4, 2001
For : SERVICE PRESENTING APPARATUS, SERVICE PRESENTING
METHOD, STORING MEDIUM, NETWORK SYSTEM, CHARGING
APPARATUS, CHARGING METHOD AND COMPUTER
PROGRAM
Examiner : Unassigned
Art Unit : 2164

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:


**CLAIM TO BENEFIT OF 35 U.S.C. § 119
AND FILING OF PRIORITY DOCUMENT**

Claim is made herein to the benefit of 35 U.S.C. § 119 for the filing date of the following
Japanese Patent Application No.: 2000-173974 (filed June 9, 2000). A certified copy of this
document is enclosed.

Dated: September 24, 2001

Respectfully submitted,

ROBIN, BLECKER & DALEY
330 Madison Avenue
New York, New York 10017


Marylee Jenkins
Reg. No. 37,645
An Attorney of Record

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as First Class Mail in an envelope addressed to:
Assistant Commissioner for Patents, Washington, D.C. 20231, on:

MARYLEE JENKINS

September 24, 2001
Date of Signature

Signature



CFD 15424 US/fu

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 6月 9日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-173974

出 願 人

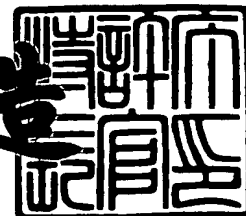
Applicant(s):

キヤノン株式会社

2001年 6月19日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3057397

【書類名】 特許願

【整理番号】 4212105

【提出日】 平成12年 6月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 ネットワークシステム、サービス提供装置、課金装置、
方法、及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

【請求項の数】 11

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会
社内

 【氏名】 宇都宮 健人

【特許出願人】

 【識別番号】 000001007

 【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100090273

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 國分 孝悦

 【電話番号】 03-3590-8901

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 035493

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9705348

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークシステム、サービス提供装置、課金装置、方法、及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サーバコンピュータと端末とをネットワークを介して接続し、ユーザの操作に応じて前記端末を介して所定のサービスを提供する構成にしたネットワークシステムであって、

料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を行う課金処理手段を備えたことを特徴とするネットワークシステム。

【請求項 2】 前記課金処理手段は、

前記端末を介して前記ユーザの携帯端末へのアクセス情報の入力を要求する処理と、

前記アクセス情報に基づいて前記ユーザの携帯端末にアクセスする処理と、

前記ユーザの携帯端末にアクセスした状態で、前記料金を前記ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすことについての認証を行う処理とを実行することを特徴とする請求項 1 に記載のネットワークシステム。

【請求項 3】 前記ネットワークには前記ユーザの携帯端末について契約する契約会社の端末が接続され、

前記契約会社の端末に対して、前記認証がなされたことを通知する通知手段を備えたことを特徴とする請求項 2 に記載のネットワークシステム。

【請求項 4】 前記携帯端末は携帯電話であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のネットワークシステム。

【請求項 5】 前記所定のサービスは前記サーバコンピュータから情報を取得する情報提供サービスであることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載のネットワークシステム。

【請求項 6】 前記端末は、前記サーバコンピュータから取得した情報についてプリント出力するプリント手段を有することを特徴とする請求項 5 に記載のネットワークシステム。

【請求項 7】 料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引

き落とす方式とするか、他の支払い方式とするかを選択可能にしたことを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のネットワークシステム。

【請求項 8】 ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するためのサービス提供装置であって、

料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を行う課金処理手段を備えたことを特徴とするサービス提供装置。

【請求項 9】 ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するときに料金を徴収するための課金装置であって、

料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を行う課金処理手段を備えたことを特徴とする課金装置。

【請求項 1 0】 ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するときに料金を徴収するための課金方法であって、

料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための手順を有することを特徴とする課金方法。

【請求項 1 1】 ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するときに料金を徴収する処理を実行するためのプログラムを格納するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、

前記料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を実行することを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明はネットワークシステム、サービス提供装置、課金装置、方法、及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に関し、携帯電話等の携帯端末を利用した料金の支払・徴収を可能とするものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年では、コンビニエンスストア等に設置された情報端末から各種の情報を引き出すことのできるサービスが実施されている。これまでは、情報を情報端末の

ディスプレイに表示したり、プリント出力したりする際に、広告等を一緒に表示、プリント出力することにより、その広告を出す企業等がユーザの利用料（情報端末の使用料や情報料といった料金）を負担し、ユーザからは利用料を徴収しないことが多かった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

最近では情報の高付加価値化が進み、それに伴って情報料も高額なものが増えてきている。そのため、企業の広告料だけでは足りず、ユーザに利用料を直接請求することも増えてきている。

【0004】

しかし、利用料を求める場合、現金による支払い等が挙げられるが、そのためには装置にお金を投入したり、コンビニエンスストア等であればレジで支払ったりしなければならず、状況によってはユーザ等にとって利用しにくいものとなる。

【0005】

本発明は、上記のような問題を解決するためになされたものであり、ユーザが所定のサービスを受けるときに、広く普及している携帯電話等の携帯端末を利用して料金の支払いを可能にすることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明のネットワークシステムは、サーバコンピュータと端末とをネットワークを介して接続し、ユーザの操作に応じて前記端末を介して所定のサービスを提供する構成にしたネットワークシステムであって、料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を行う課金処理手段を備えた点に特徴を有する。

【0007】

本発明のネットワークシステムの他の特徴とするところは、前記課金処理手段は、前記端末を介して前記ユーザの携帯端末へのアクセス情報の入力进行要求する処理と、前記アクセス情報に基づいて前記ユーザの携帯端末にアクセスする処理

と、前記ユーザの携帯端末にアクセスした状態で、前記料金を前記ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすことについての認証を行う処理とを実行する点にある。

【 0 0 0 8 】

本発明のネットワークシステムの他の特徴とするところは、前記ネットワークには前記ユーザの携帯端末について契約する契約会社の端末が接続され、前記契約会社の端末に対して、前記認証がなされたことを通知する通知手段を備えた点にある。

【 0 0 0 9 】

本発明のネットワークシステムの他の特徴とするところは、前記携帯端末は携帯電話である点にある。

【 0 0 1 0 】

本発明のネットワークシステムの他の特徴とするところは、前記所定のサービスは前記サーバコンピュータから情報を取得する情報提供サービスである点にある。

【 0 0 1 1 】

本発明のネットワークシステムの他の特徴とするところは、前記端末は、前記サーバコンピュータから取得した情報についてプリント出力するプリント手段を有する点にある。

【 0 0 1 2 】

本発明のネットワークシステムの他の特徴とするところは、料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とす方式とするか、他の支払い方式とするかを選択可能にした点にある。

【 0 0 1 3 】

また、本発明のサービス提供装置は、ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するためのサービス提供装置であって、料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を行う課金処理手段を備えた点に特徴を有する。

【 0 0 1 4 】

また、本発明の課金装置は、ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するときに料金を徴収するための課金装置であって、料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を行う課金処理手段を備えた点に特徴を有する。

【 0 0 1 5 】

また、本発明の課金方法は、ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するときに料金を徴収するための課金方法であって、料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための手順を有する点に特徴を有する。

【 0 0 1 6 】

また、本発明のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、ユーザの要求に応じて所定のサービスを提供するときに料金を徴収する処理を実行するためのプログラムを格納するコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、前記料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすための処理を実行する点に特徴を有する。

【 0 0 1 7 】

上記のようにした本発明では、ユーザが所定のサービスを受けるとき、端末の使用料や情報料といった料金を、ユーザの携帯端末について契約する金融機関から引き落とすことができる。

【 0 0 1 8 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、本発明の実施の形態について説明する。

図 1 には、本実施の形態のネットワークシステムの全体図を示す。100 はインターネット等のネットワークである。101 はネットワーク 100 に接続するサーバコンピュータであり、ユーザに特定のサービスを有料で提供するものである。102 はユーザの携帯端末について契約する契約会社の端末である。

【 0 0 1 9 】

104 はファイアウォールであり、これより下に図示した LAN ネットワーク内部をインターネット等のネットワーク 100 に接続し、セキュリティ管理等を行う。105 は機器管理サーバであり、LAN ネットワークにより接続された各

機器 1 0 6 ～ 1 1 5 の管理、ユーザ管理、課金情報等のデータ管理等を行う。1 0 6 はファイルサーバであり、広告データの管理等を行い、この広告データを必要に応じてマルチファンクションマシン 1 0 7 やプリンタ 1 1 5 に出力する。

【 0 0 2 0 】

1 0 7 はマルチファンクションマシンであり、情報を引き出すためのユーザインターフェース及び画像の入出力等の機能を有する。本実施の形態では、このマルチファンクションマシン 1 0 7 が、本発明でいう端末、サービス提供装置等に相当するものである。

【 0 0 2 1 】

マルチファンクションマシン 1 0 7 において、1 0 8 はユーザが操作するための操作部であり、例えば、表示部及びタッチパネルにより構成される。1 0 9 はデバイスコントローラであり、操作部 1 0 8 からの指示に基づいてスキャナ 1 1 0 やプリンタ 1 1 1、メモリ 1 1 2 やハードディスク 1 1 3 の間で画像データの入出力等の制御を行う。なお、本実施の形態においては、当該デバイスコントローラ等により本発明でいう課金処理手段の機能が実現される。

【 0 0 2 2 】

また、1 1 0 はイメージスキャナであり、操作部 1 0 8 や図示しないパーソナルコンピュータ等からの指示に従って画像を入力するためのものである。1 1 1 はプリンタであり、ファイルサーバ 1 0 6 や図示しないパーソナルコンピュータからのデータを印刷するためのものである。1 1 2 はメモリであり。1 1 3 はハードディスクである。1 1 4 は公共電話回線等に接続するためのモデムである。

【 0 0 2 3 】

1 1 5 はプリンタであり、ファイルサーバ 1 0 6 や図示しないパーソナルコンピュータからの画像データを記録媒体上にプリントするためのものである。

【 0 0 2 4 】

1 1 6 はマルチファンクションマシン 1 0 7 を使用するユーザが所有している携帯電話である。

【 0 0 2 5 】

次に、図 2 ～ 6 を用いて、本実施の形態のネットワークシステムにおける処理

動作について説明する。

ユーザがマルチファンクションマシン107を介してサーバコンピュータ101から有料情報を引き出す場合、マルチファンクションマシン107は、操作部108の表示部を介して利用料（使用料及び情報料）の支払方法の選択を要求する（ステップS201）。図3には、マルチファンクションマシン107の操作部108の表示部に表示される画面の一例を示す。ユーザは、OKボタンやキャンセルボタンを操作して、任意の支払方法（「1. 携帯端末を利用しての支払い」、「2. クレジットカードによる支払い」、「3. レジでの現金による支払い」）を選択する。

【0026】

ユーザが携帯電話116を持っており、「1. 携帯端末を利用しての支払い」が選択された場合、図4に示すように、操作部108の表示部を介して携帯電話116の電話番号の入力を要求する（ステップS202）。ユーザは、数字ボタンを操作して自分の携帯電話116の電話番号を入力する。この携帯電話116の電話番号が、本発明でいうアクセス情報に該当するものである。

【0027】

電話番号の入力があったならば、デバイスコントローラ109は、モデム114を使用して当該入力された電話番号に電話をかける（ステップS203）。このとき、図5に示すように、操作部108の表示部には、電話をかけている旨のメッセージが表示される。

【0028】

ユーザの携帯電話116に接続したら、例えば図6に示すように、音声メッセージにより、利用料を当該携帯端末について契約する金融機関から引き落とすことについての認証処理を行う（ステップS204）。ユーザは、合意する場合は自分の携帯電話の「1」ボタンを、合意しない場合は「9」ボタンを操作する。

【0029】

ユーザによる合意が得られたならば、携帯電話116との通話を切断し、当該携帯電話116の契約会社の端末102にネットワーク100を介してアクセスを行う。そして、利用料の支払いを、ユーザの携帯電話について契約する金融機

関から引き落としすることについて、当該ユーザとの間で認証がなされたことを通知する（ステップ S 2 0 5）。

【 0 0 3 0 】

この後は、ユーザの操作部 1 0 8 での操作に応じてマルチファンクションマシン 1 0 7 は所望のデータベース等にアクセスし（ステップ S 2 0 6）、有料のデータベースにアクセスするごとに、使用料や情報料のカウントアップを行う（ステップ S 2 0 7）。

【 0 0 3 1 】

ユーザによる終了操作があったならば（ステップ S 2 0 8）、マルチファンクションマシン 1 0 7 は、ユーザの携帯電話 1 1 6 の契約会社の端末 1 0 2 に対してネットワーク 1 0 0 を介してアクセスし（ステップ S 2 0 9）、カウントアップした利用料を請求する（ステップ S 2 1 0）。

【 0 0 3 2 】

携帯電話 1 1 6 の契約会社の端末 1 0 2 とマルチファンクションマシン 1 0 7 との間で利用料金の取引が完了したならば、デバイスコントローラ 1 0 9 は、モデム 1 1 4 を使用して再びユーザの携帯電話 1 1 6 に電話をかけ、利用料金等のアナウンスを行って（ステップ S 2 1 1）、一連の処理を終了する。

【 0 0 3 3 】

（その他の実施の形態）

上述した実施の形態の機能を実現するべく各種のデバイスを動作させるように、該各種デバイスと接続された装置或いはシステム内のコンピュータに対し、上記実施の形態の機能を実現するためのソフトウェアのプログラムコードを供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（CPU 或いは MPU）に格納されたプログラムに従って上記各種デバイスを動作させることによって実施したものも、本発明の範疇に含まれる。

【 0 0 3 4 】

又、この場合、上記ソフトウェアのプログラムコード自体が上述した実施の形態の機能を実現することになり、そのプログラムコード自体、及びそのプログラムコードをコンピュータに供給するための手段、例えばかかるプログラムコード

を格納した記録媒体は本発明を構成する。かかるプログラムコードを記憶する記録媒体としては、例えばフロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード、ROM等を用いることができる。

【0035】

又、コンピュータが供給されたプログラムコードを実行することにより、上述の実施の形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードがコンピュータにおいて稼働しているOS（オペレーティングシステム）或いは他のアプリケーションソフト等と共同して上述の実施の形態の機能が実現される場合にもかかるプログラムコードは本発明の実施の形態に含まれることはいうまでもない。

【0036】

さらに、供給されたプログラムコードがコンピュータの機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに格納された後、そのプログラムコードの指示に基づいてその機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPU等が実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によって上述した実施の形態の機能が実現される場合にも本発明に含まれることはいうまでもない。

【0037】

なお、上記実施の形態において示した各部の形状及び構造は、何れも本発明を実施するにあたっての具体化のほんの一例を示したものに過ぎず、これらによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されてはならないものである。すなわち、本発明はその精神、又はその主要な特徴から逸脱することなく、様々な形で実施することができる。

【0038】

【発明の効果】

以上述べたように本発明によれば、ユーザが所定のサービスを受けるときに、当該ユーザの携帯電話等の携帯端末を利用しての料金の支払いが可能となる。今日では、携帯電話等の携帯端末は広く普及しており、外出するときにはほとんどの場合に持ち運ぶので、例えばコンビニエンスストア等で、現金による支払い以外に本発明の携帯端末を用いた支払いが可能であれば、サービスを受ける上でユ

一ザ等にとって非常に利用しやすい環境を作ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態のネットワークシステムの全体構成を示す図である。

【図 2】

ネットワークシステムにおける処理動作を示すフローチャートである。

【図 3】

マルチファンクションマシンの操作部 108 の表示部での表示画面の一例を示す図である。

【図 4】

マルチファンクションマシンの操作部 108 の表示部での表示画面の一例を示す図である。

【図 5】

マルチファンクションマシンの操作部 108 の表示部での表示画面の一例を示す図である。

【図 6】

認証処理を説明するための図である。

【符号の説明】

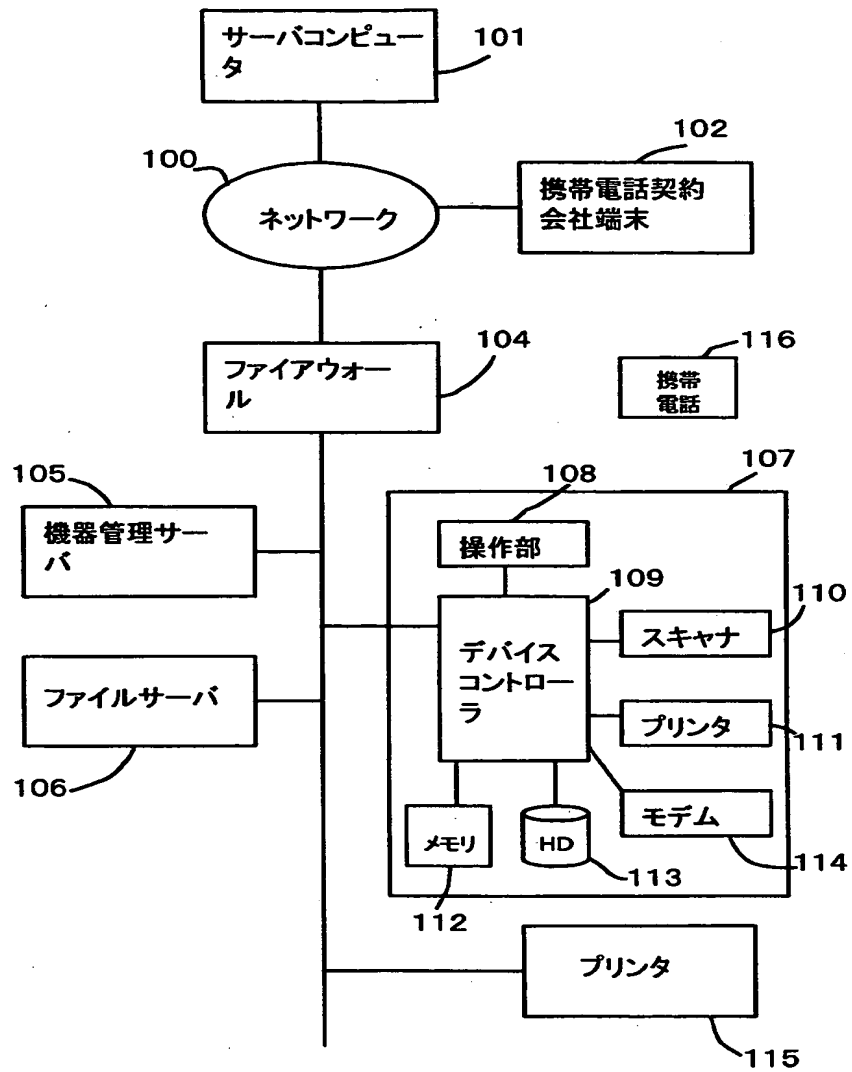
- 100 ネットワーク
- 101 サーバコンピュータ
- 102 携帯電話契約会社端末
- 104 ファイアウォール
- 105 機器管理サーバ
- 106 ファイルサーバ
- 107 マルチファンクションマシン
- 108 操作部
- 109 デバイスコントローラ
- 110 スキャナ
- 111 プリンタ

- 112 メモリ
- 113 ハードディスク
- 114 モデム
- 115 プリンタ
- 116 携帯電話

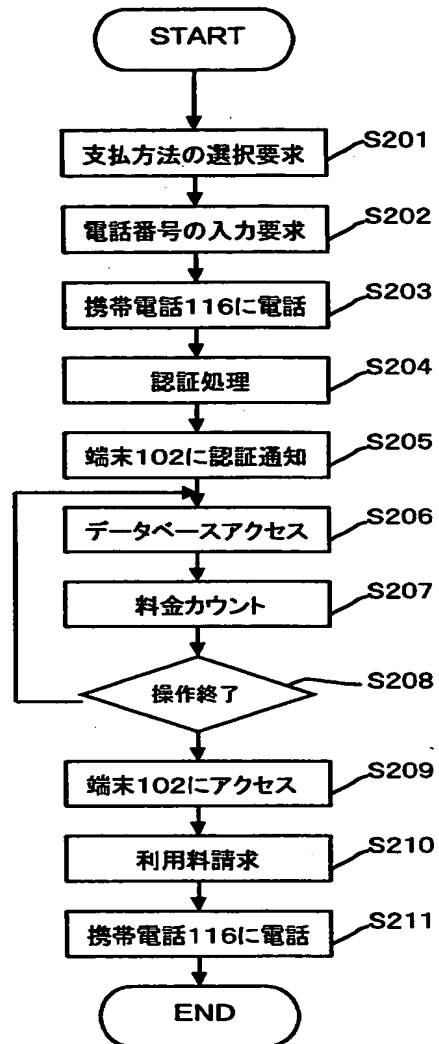
【書類名】

図面

【図 1】



【図2】



【図3】

本MFPの使用料及び情報料の
支払方法を選択してください。
選択後OKボタンを押してください

- 1. あなたの契約している携帯端末
- 2. クレジットカード
- 3. レジでの現金

1

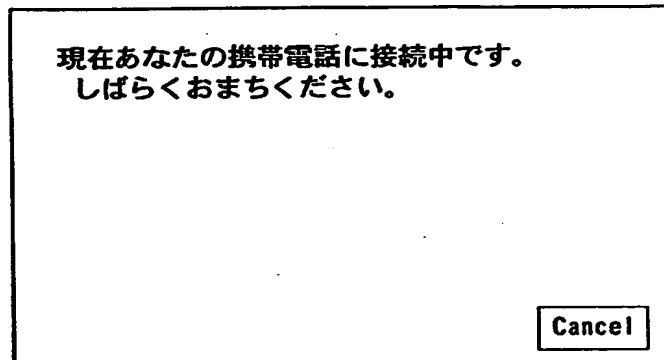
【図4】

あなたの携帯電話の番号を入力してください

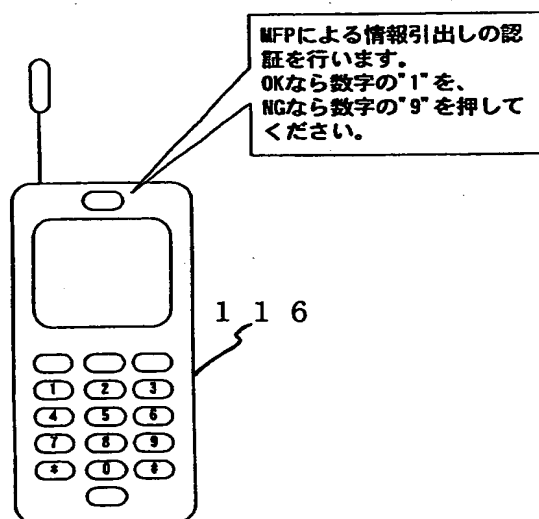
090-xxxx-xxxx

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

【図5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザが所定のサービスを受けるときに、広く普及している携帯電話等の携帯端末を利用して料金の支払いを可能にする。

【解決手段】 マルチファンクションマシン 1 0 7 を介してサーバコンピュータ 1 0 1 から有料情報を引き出す場合、マルチファンクションマシン 1 0 7 は、ユーザに対して携帯電話 1 1 6 の電話番号の入力を要求し、当該入力された電話番号に電話をかけて、利用料を当該携帯端末について契約する金融機関から引き落とすことについての認証処理を行う。その後、マルチファンクションマシン 1 0 7 はユーザの操作に応じて所望のデータベース等にアクセスし、有料のデータベースにアクセスするごとに使用料や情報料のカウントアップを行い、情報提供が終了したならば、ユーザの携帯電話 1 1 6 の契約会社の端末 1 0 2 にアクセスして、カウントアップした利用料を請求する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名	キヤノン株式会社